

センター通信



絵本がつなぐ親子の絆

伊丹市立伊丹幼稚園

園長 和田 法子

子どもたちは絵本が大好きで、先生やお母さんに絵本を読んでもらうことを毎日楽しみにしています。

私は子どもが小さい頃、毎日寝る前に絵本を読んでやっていました。息子の初めての愛読書は『ころころころ』です。出てくる言葉は「ころころ」だけの実にシンプルな絵本です。同じ絵本を読んでも、私のその時のいらいらした気持ちなど心の状態が、聞いている子どもには伝わるのでしょうか。何回も読むことになったり、勝手にその日の気分言葉を増やすと、すぐに気がついてやり直しをさせられたりしました。

今思えば、1歳半の幼な子と私の心が触れあう貴重な時間だったと懐かしくなり、その時の息子の表情や笑い声まで思い出します。

以前、幼稚園の保護者に「親子で絵本を一緒に読んで良かったことは？」と聞いたことがあります。1番にあがるのは、「言葉や字を覚えられること」でした。絵本を毎日読むことで、絵や文字に興味関心を持ち始めることは子どもにとって世界が広がり喜ばしいことです。2番目は、「本が大好きになって集中して聞けるようになると、いろんな人の気持ちを感じられるようになること」だそうです。

他にもいろいろありましたが、私が何より納得できたのは、「子どものぬくもりを感じながら一緒に絵本を読むことで、お互い『優しい気持ちになれる』こと」というものでした。絵本を読むことで、子どもと共に楽しむ時間が自然に持てて、共通の話題が多くなり、子どもがどんなことに興味を持っているかを知るきっかけにもなるということです。

このように、幼稚園の保護者の声を聴いても、「親子で絵本を読む」ことのすばらしさがよく分かります。

人とのかかわりが難しい現在は、電車内の広告にまで『人とうまく付き合える方法』などの宣伝が掲載される時代です。子どもたちの世界でも人との距離がうまくつかめなかったり、気持ちの表現が苦手で苦労している様子をよく見かけます。だからこそ、私は親子で絵本を読むことを是非お勧めします。一日に僅かな時間でも、絵本をとおして親子の気持ちの交流が生まれるような、ゆったりとした時間を持ちたいものです。

青少年を守る店連絡協議会

『量販店部会研修会』の報告

10月11日(金)(於:総合教育センター)

伊丹市青少年を守る店連絡協議会第2回役員会の後、量販店部会研修会が実施されました。市内小・中・高の生徒指導担当教諭と「青少年を守る店」の役員・量販店の代表者等34名が出席しました。

前半は伊丹市立天王寺川中学校生徒指導担当の竹内善一教諭より、「本校の事例から携帯電話等によるトラブル防止に向けて」と題して、実践発表がありました。まず、天王寺川中学校の概要、学校の抱える問題点について、続いて近年増加傾向にある携帯電話(スマートフォンを含む)を使用した問題行動に関連する具体的な事例を挙げながら生徒指導の取り組みについて、話がありました。

これまでに携帯電話にまつわる問題行動防止に向けて、教育相談や情報モラルの授業などを通じて未然防止に努めてきた。それらに加えて次の4つの取り組みを行った。

- ① 全校生徒にアンケートを実施し、現状把握
生徒会活動の一環として、アンケート調査をした。アンケートによる実態把握で所持率(69%)、使用料金の悩みがあることが分かった。
- ② 警察の支援による講演会
携帯電話にまつわるトラブルが中学生の間で頻発していることから、伊丹警察署に講演会を依頼し、生活安全課少年係の講演を実施した。
- ③ KDDIの支援による講演会
KDDIから講師を派遣して頂き、携帯電話の基礎知識と、LINEなど無料通話ソフトの正しい使い方とトラブルに巻き込まれないような扱い方を学習した。
- ④ 保護司会と生徒会によるグループ討議
「社会を明るくする運動」の一環として①のアンケート結果を基に話し合いを持って活発に議論を深めた。

今後教職員がさらに研修を積んで、携帯電話等による事件事故の未然防止に努めたいとのことでした。

引きつづき後半は、イズミヤの警備を担当されている株式会社カンソー顧問 坊山康二さんに「イズミヤに於ける

昨今の青少年の様子」と題して、イズミヤ昆陽店における青少年の実態やその対応等に関してご講演を頂きました。

イオンモール伊丹昆陽ができて、来店する小中高生が減少した。それまでは近隣の小中高生の来店も多く、迷惑行為が多数あった。

現在の中学生の様子としては、伊丹市内や、隣接市の中学生の来店が多い。中学生の行為で困っていることは、万引き、店内で暴れまわって鬼ごっこをする、幼児の遊び場を占領するなどの迷惑行為である。また、注意をした警備員に対して、暴言やつばを吐きかけるなどの行為があり、注意をされても反省の色がない生徒もいる。

何よりも迷惑行為を行った生徒が立ち直るためには、家庭との連携が必要で、中学校の先生には指導の過程で各家庭と店を繋いでいただけて感謝していると述べられました。そして、生徒たちの将来を思い、彼らの健全育成に向けて学校・家庭と店の連携を大切にしていきたいという願いで締めくくられました。

◆街頭補導の件数 《平成25年10月》

	幼小	中	高他	大人	計
声かけ・会話等	264	73	74	37	448
遊びに関して	20	13	6	3	42
ぐ犯・不良行為	0	4	2	0	6
交通に関して	17	29	50	139	235
計	37	46	58	142	283

◆電話・来所相談の件数 《平成25年10月》

	件数	前月比	累計
電話相談	14	+5	107
来所相談	3	+3	10

◆白ポスト回収状況 《平成25年10月》

	数量	前月比	累計
有害図書	244	-142	
有害AV	262	-158	
計	506	-300	5,184

白ポスト設置場所(市内16箇所)

(車塚公園・阪急橋野駅・南センター・阪急新伊丹駅・阪急伊丹駅・いたみホール
バラ公園バス停・荒牧バス停・北センター・中野西公園・裁判所前・山田バス停
女性児童センター・JR伊丹駅1F・JR北伊丹駅南口駐輪場・西桑津バス停)

11月の主な行事

11月は『子ども・若者育成支援強調月間』です。

1日(金)	伊丹市少年育成協会常任理事会	18日(月)	合同教育相談
7日(木)	伊丹市少年補導委員連合会役員会・定例理事会	19日(火)	少年進路相談員連絡会
8日(金)	合同教育相談	22日(金)	伊丹市少年補導委員実務研修会兼阪神北地区薬物乱用防止指導員研修会
11日(月)	青少年を守る日 市内広報・一斉補導	22日(金)	神戸保護観察官駐在
12日(火)	伊丹市青少年健全育成研修会	26日(火)	有害図書回収
13日(水)	有害図書回収	29日(金)	少年進路相談員学校見学
14日(木)	兵庫県青少年補導センター所長・会長一日研修会		
		学補連絡会	→笹原中11/13(水) 北中11/19(火) 西中11/27(水)

※「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市少年愛護センター(Tel: 780-3540)までお寄せください。